

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

三池工業

高等学校(定時制)

71

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>地域産業の発展に貢献できる工業人材を育成する定時制高校</p> <p>実践的な工業教育を通して、生徒の多様なニーズに応えながら、基礎的・基本的な学力の定着を図り、地域産業に貢献できる職業人としての自立を促します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と工業に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得 ・職業人として必要な規範意識や社会性の育成 ・生涯学び続けることのできる主体的な態度の育成 ・社会変化に柔軟に対応できる力の育成 ・地域や産業に関する課題を発見し、創造的に解決する能力の育成
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習過程と成果を広く見渡した観点別評価の実施 ・高度な専門教育が受けられる機械コースと電気コースの選択制と少人数実習の実施 ・課題発見・解決能力や論理的思考力、コミュニケーション能力を育成する課題研究と発表会の実施 ・多くの資格が取得可能なカリキュラムの編成 ・SCやSSWなどとの連携による、個々に配慮したサポート体制の充実
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業を強く希望する人 ・働きながら高校卒業を目指したい人 ・当たり前のことに一所懸命に取り組める人 ・ものづくりに興味がある人 ・資格取得にチャレンジしたい人 ・地元で活躍できる職業人になりたい人

学校運営計画(4月)

学校運営方針			評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中と放課後を有効に活用した、生徒一人一人に応じた進路指導の実施 ・夏季休業中におけるものづくり教室の実施 ・資格取得を促すことによる受験者の増加 ・観点別学習状況の評価の実施 ・アクティブ・ラーニングやICTの活用の教職員相互における情報提供の実施 ・基礎学力の向上を図る基礎学力講座(数学)の実施 ・生徒情報交換会を毎週実施 ・外部から得られた情報等を速やかに職員間で共有 ・いじめの未然防止、早期発見のための組織的な取組の実施 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点別学状況評の評価の充実(ルーブリックの作成)とICTを活用した授業の定着 ・学校行事の内容を見直し、生徒が主体的に企画・運営に参画し、所属感や連帯感を深めることができるような生徒会活動の充実 ・生徒の進路に対する意識向上を図るため、キャリアサポート等を計画的・系統的に活用するとともに、関係機関との連携強化を行うことによるキャリア教育の充実 ・長期欠席者や中途退学者を減らすため、計画的なSCの運用、または状況次第ではSSWとの連携、そして関係行政機関等との連携強化 ・4年間を見据えた人権・同和教育の計画や授業実施の学習のねらいの明確化と授業以外の部分においても人権の在り方の涵養 	1 キャリア教育の充実	地域と連携を図り、「生徒一人一人の多様な進路実現」に向けたカリキュラムを展開し、企業の就職だけではなく公務員の就職や大学進学等、多様な生徒の可能性を伸ばす生徒一人一人に応じた進路指導を行う。	
	2 ものづくりを中心とした「三工定ブランド化」の推進	「ものづくり」を通じた地域貢献を推進するとともに、「三工定ならではの」活動を行う。また、地域や社会の健全で持続的な発展を担う人材を育成するために、資格取得に挑戦する生徒の育成を図る。	
	3 授業技術を高め、「人を育てる授業」を展開する	「鍛ほめ福岡メソッド」の実践を推進し、「主体的・対話的で深い学び」に向けた「アクティブ・ラーニング」の実践を図り、探求心の向上を行う。また、最先端科学技術の進展やグローバル化、そして産業構造変化等に伴うことによる専門知識と技術の高度化に対応するため、教職員自ら自己研鑽に励み、ICTを活用した授業づくりと実践学習を通じた学習意欲の向上に努める。さらに、生徒に「自覚努力」、「自学自習」の精神を育成することで学ぶ意欲、確かな学力の育成を図る。	
	4 ICTを活用した学習スタイルの確立を図る	生徒1人1台端末及び通信ネットワーク等のICT環境を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、教師のコーチングスキルを高め、生徒一人一人の資質・能力を確実に育成する教育活動及び教育DXの実現を目指す。	
	5 修学支援・特別支援を迅速に進める	「チーム三工定」として、欠席や遅刻を繰り返す生徒の適切な指導法を協議するとともに関係機関と連携しつつ、生徒情報交換会等で生徒の情報共有を図り、組織的な対応につなげる。また、「知恩感謝」の念を持ち、いじめや暴力のない安心安全な学校づくりに努める。なお、就学と就業の両立を目指して、学校・家庭・職場間の連携を強化する。	
	6 組織的な道徳教育の展開	道徳的実践力を高めるため、人としての在り方・生き方を身に付ける道徳教育を展開する。また、「凡事徹底」を図り、当たり前前することを当たり前にするのではなく、当たり前前の人には真似できないほど一所懸命する態度を涵養する。	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部	社会の変化に柔軟に対応できる資質・能力の育成	観点別学習状況の評価を充実させ、生徒の学習改善を促進する。	<年2回> 【保護者対象】 ・学習状況アンケート <年2回> 【生徒対象】 ・授業アンケート	
		授業のアクティブ・ラーニングやICTの活用を推進する。		
		基礎学力テストを実施し、一人一人の学力に関する情報を共有するとともに、生徒に最適な指導方法の立案の補助に努める。		
	出席・成績不振による原級留置や中途退学の防止	生徒一人一人の学習状況を把握し、基礎学力の向上を図る。	<年2回> 【保護者対象】 ・学習状況アンケート <年2回> 【生徒対象】 ・授業アンケート	
		統合型校務支援システムを活用し、教職員間で情報を共有する。		
		出席・成績不審者とその保護者を対象に年2回以上の説明会を実施し、生徒の欠席防止と学習状況の改善を図る。		
生徒指導部	生徒の多様性に応じた指導・支援	全職員による毎週の生徒情報交換会や、外部から得られた情報を速やかに共有し、生徒理解の一助にしていく。	<年7回> 【生徒対象】 ・学校生活アンケート <年5回> 【生徒対象】 ・いじめアンケート	
		相談ボックスについて、生徒に周知徹底を図り、毎日確認を行う。		
		定期的に校則の見直しや改善を図り、生徒の実態に即した取組を行う。		
	安心・安全な学校づくりのための取組	全教職員が学校いじめ防止基本方針を理解し、いじめの未然防止・早期発見のための組織的な対応を行う。	<年3回> 【生徒対象】 ・学校行事アンケート <年7回> 【生徒対象】 ・学校生活アンケート	
		生徒会を中心に委員会活動を年4回以上実施することで学校行事の充実を図り、全生徒が本校定時制の一員としての自覚と誇りを持つことができる学校づくりに努める。		
		学校生活アンケート等を毎月実施した後、教育相談委員会を開き今後の対応について組織的な取組を行う。		

様式3

進路指導部	キャリア教育の充実と就労支援	進路指導教室に加え、クラス別HRでも進路指導に関する活動を2回以上設けて、職業観の育成を図る。 アルバイト募集情報を提供して生徒の勤労体験を支援し、各学期に全校生徒の就業状況を調査するとともに、3年生・4年生の3学期の就業率60%以上を目指す。 在校生の就業先を夏季休業中に全教職員で職場訪問する計画を作成し実施することで、雇用の継続と拡大を図る。	<12月> 【生徒・保護者対象(1~3学年)】 ・進路希望に関するアンケート 【生徒・保護者対象(全学年)】 ・希望する進路指導に関する情報アンケート	
	有用な人材の育成と進路実現を図るための指導体制の改善	卒業予定者に対して複数の教員で面接指導をする時間を十分に設け、早期の就職内定を図る。 進路指導部内で、就職指導を担当する教員と進学指導を担当する教員に業務を分担・分業させて、並行して指導できる体制をつくる。 就職や進学を有利に進めるため、年度内に1つ以上の資格取得に挑戦するよう全生徒に働きかけ、前年度の資格試験出願者延べ50人以上を目指す。	<12月> 【生徒・保護者対象(卒業予定者)】 ・就職希望先の企業や進学希望先の学校を決める際に、重視したことや利用した情報アンケート 【生徒・保護者対象(全学年)】 ・今後取得したい(取得させたい)資格アンケート	
保健食育部	生徒一人一人の心身を守り、安心・安全な学校生活を送れる環境づくり	個々の生徒の課題の対応について、クラス担任およびスクールカウンセラー等と連携して、指導方針を共有・確認し、支援をしていくとともに、関係機関との連携を図る。 QRコードを使った、登校前のスマートフォンでの健康チェックを実施し、自己の体調管理を促す。 教室等のこまめな換気、消毒を行い感染予防に努める。	<毎学期> 【生徒対象】 ・スクールカウンセラーの利用促進のためのアンケート ・健康促進のための取組に関するアンケート	
	食育の推進を図り、生徒の偏った栄養摂取、朝食欠食をはじめとする食生活の乱れにおける改善の促進	学校給食を通して、望ましい生活習慣を身に付けさせるとともに、家庭での日常的な食生活を見直す機会にしていく。 生徒のリクエストメニューを積極的にとり入れ、生徒へフィードバックをしながら、食への関心を高める。 三工定農園で作物を育て、収穫を行うことで自然の恵みや勤労の大切さを学ぶ。	<毎学期> 【生徒対象】 ・日常的な食生活アンケート ・健康促進のための取組に関するアンケート	

様式3

企画情報部 (教育情報推進課含む)	学校行事の円滑な運営と効果効率的な広報活動	各分掌との連携・調整を密にし、行事予定表を早期に計画し、会議録の作成と資料保管等を確実に行う。	<PTA関連学校行事毎> 【保護者対象】 ・学校行事アンケート	
		PTA総会や役員会等の円滑な運営を行うとともに、PTAや同帰会との連携を推進しながら、PTA活動の充実を図る。		
		パンフレットの内容の充実と中学生体験入学等を通して、小・中学生に対する広報活動の充実に努める。		
ICT活用環境の整備と教育の情報化の推進	学校HPの維持管理、更新を適切に行い、学校情報の積極的な配信を行う。	ICT機器を管理するとともに、それを利用した運営及び応用的な活用ができる人材の育成に努める。	<年2回> 【生徒対象】 ・ICT機器使用度調査	
		授業や実習、学校行事等の活動記録を取り、来年度の活動に還元する。		
工業(機械・電気)科	教職員の指導力向上と授業の「質」の改善	本校の教科課程に応じた研修会を長期休業等に実施し、技術・技能の継承を行う。	<年1回> 【生徒対象】 ・生徒満足度調査(実習等) ・行事に関するフォローアップアンケート(課研)	
		生徒の実態に応じて、教材を精選したり、教育機器等を用いたりして、指導を工夫する。		
		職員研修や生徒アンケート、面談等を有効利用して学習指導法を研究するとともに、改善を目指す。		
将来の夢を抱き、目的意識の明確化と進路目標の設定	資格の案内だけでなく、学期毎に資格取得希望調査を実施し、昨年度よりも受験者を増加させる。	「時間・挨拶・掃除・返事」の指導の徹底と多様な生徒の能力や興味・関心、進路に応じた特色ある教育課程の編成を行う。	<毎学期> 【生徒対象】 ・資格取得希望調査 ・進路希望調査	
		定期的な面談等を行い、生徒毎の進路希望を明確にするとともに、適切なコース選択をさせ、進路意識の向上に努める。		